

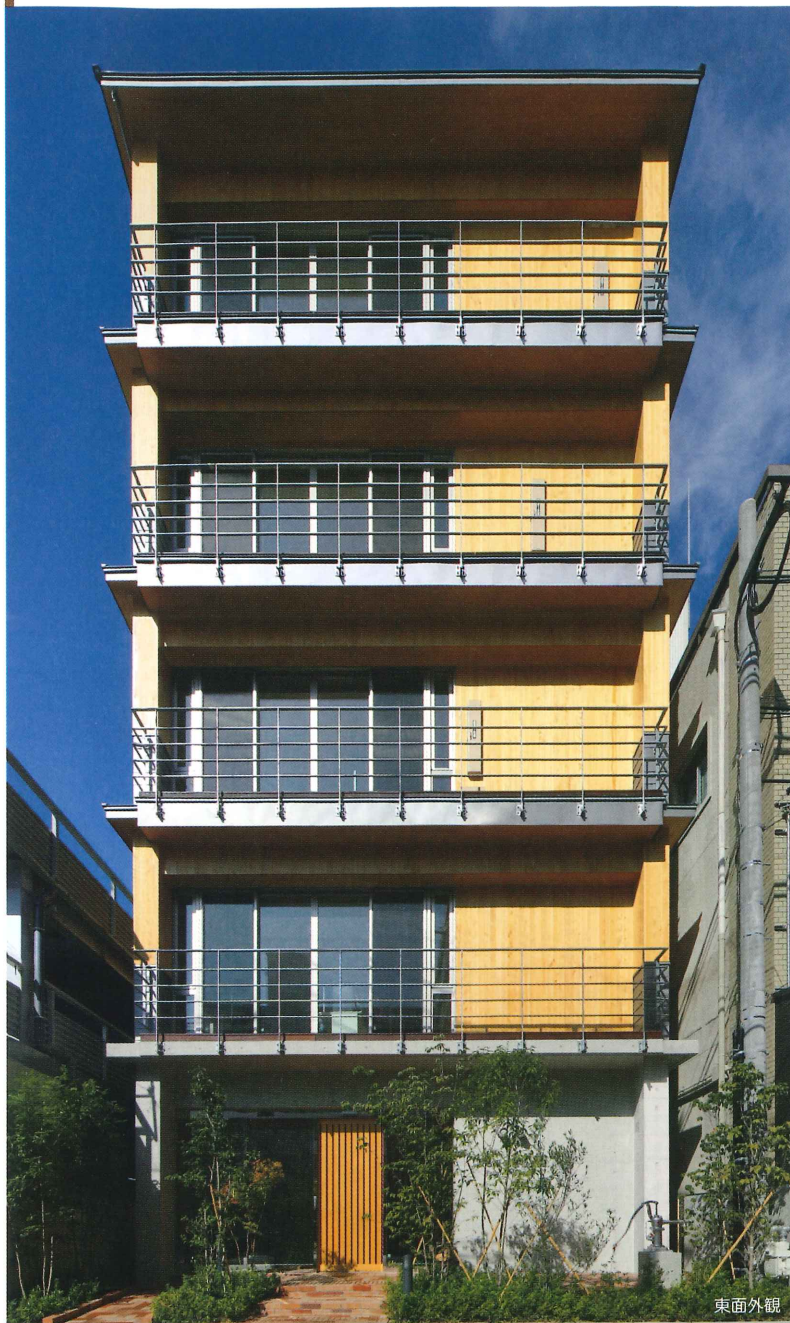
木をつかう

木材利用事例集



お問合せ 一般財団法人 大阪府みどり公社
森林整備・木材利用促進支援センター
〒541-0054
大阪市中央区南本町 2-1-8 創建本町ビル 5 階
TEL : 06-6563-7321
E-mail : shien@osaka-midori.jp

発行者 大阪府／一般財団法人 大阪府みどり公社
発行年月 2020年3月
印刷・編集 株式会社ウイルハーツ



東面外観

従来利用していた施設が手狭となり新しい場所を確保する必要性を感じたとき、「施設的环境は利用者にとって一日の内6～8時間を過ごす場所として快適なものでなければならない」との思いから「木で包まれた空間にしたい」との発想が生まれ、「木造のビルを建てよう!」という結論に至った。

使用する木材については、「地元の奈良県産材にしたい」という理事長の提案から、地場材を最大限に活用した。

建物は、木造建築が苦手とする壁が少ないワンルーム空間の実現が必須であったが、CLT パネル工法の採用により可能にした。

耐火性能については、準防火地域内での建築として求められる1時間耐火をクリアしている。計画段階では告示による壁に関する1時間耐火構造の規定が出ていたため、壁・柱は CLT としたが、床は CLT を用いた耐火告示がなかったため、木住協の木造軸組床の1時間耐火構造を適用している。(本計画の CLT は5層7プライ210mm厚の CLT パネルが主に使われている。)

また、本建物は水平力のみを負担する壁以外は CLT を耐火メンブレンで覆い、別に仕上げを施して設備などの配管スペースを確保している。そのため、壁厚が厚くなり(390mm程度)室内の有効面積は狭くなっている。しかしながら、その壁が温熱環境を含め室内環境に良い影響を与えている。

所在地 奈良県奈良市

敷地面積 272.74 m²

構造/階数 RC (1階)、CLT 木造 (2～5階) / 5階建

建築面積 194.99 m²

延べ床面積 971.54 m²

耐火性能 耐火建築物

使用木材 構造 CLT 材: 杉 (奈良県産)

外壁及び軒天: 桧 (奈良県産)

1階食堂壁: 広葉樹・針葉樹 12種 (奈良県産)、床: ウリン

2～5階壁: 杉 (奈良県産)、床: クリ (岩手県産)

木材使用量 CLT 材: 138 m³ 構造用集成材: 94 m³ 計 232 m³

設計監理 (有)浅田設計室

施工会社 大倭殖産

竣工年月 2016年7月

写真撮影: プライズ・山崎浩治 写真提供: (有)浅田設計室



1階エントランス



1階食堂



居室内観